

社会資本総合整備計画

河辺・押入地区都市再生整備計画 (第4回変更)

平成30年1月4日

岡山県津山市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成30年 1月 4日

計画の名称	河辺・押入地区都市再生整備計画	重点配分対象の該当	
計画の期間	平成24年度～平成29年度（6年間）	交付対象	津山市
計画の目標			

地区内交通の円滑化や安全対策及び雨水排水対策による都市機能の強化
 目標1： 著しい交通量の増加に対する交通の円滑化や事故防止対策、安全な歩行空間の確保を行い、誰もが安全・安心に暮らせる都市環境を整備する。
 目標2： 地区内に不足している雨水排水路を整備し、誰もが安全・安心に暮らせる都市環境を整備する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・交通の円滑化や事故防止対策、安全な歩行空間の確保により、地区内の年間人身事故件数の削減及び、主要な歩行経路の満足度の向上を図る。
- ・雨水排水対策により、地区内の内水浸水対策が必要な面積の削減を図る。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 中間目標値 最終目標値

備考

地区内市道での人身事故件数	12件/年		9件/年	
主要な歩行経路の歩行空間整備に関する満足度	53.0%		47.7%	
地区内の内水浸水対策が必要な面積の削減	38.3%		23.5%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	959 百万円	A	(内提案分 144) 959 百万円	B	百万円	C	百万円	D	百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C) / (A+B+C+D)	15.0%
-------	-----------------	---------	---	-----------------------	---	-----	---	-----	---	-----	--------------------------------------	-------

交付対象事業

A1 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H24	H25	H26	H27	H28	H29				
1-A1	都市再生	一般	津山市	直接	津山市	河辺・押入地区 都市再生整備事業	道路、雨水路等 84.3ha	津山市							959			
合計														959				

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考	
									H24	H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考	
									H24	H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考	
									H24	H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	32.3	57.2	159.6	51.3	
計画別流用 増△減額 (b)	27.6			△7.1	
交付額 (c=a+b)	59.9	57.2	159.6	44.2	
前年度からの繰越額 (d)	36.8	36.6		87.3	26.1
支払済額 (e)	60.0	93.8	72.3	105.4	26.1
翌年度繰越額 (f)	36.6		87.3	26.1	
うち未契約繰越額 (g)			60.6	20.2	
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))			38.0%	15.4%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由			関連協議に不測の日数を要したため。	工作物の撤去・移転に不測の日数を要したため。	

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

都市再生整備計画

かわなべ おしいれ ち く だい かいへんこう
河辺・押入地区(第4回変更)

おかやまけん つやまし
岡山県 津山市

平成30年 1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	おみや町けん 岡山県	市町村名	つやまし 津山市	地区名	かわなべ おしいれちく 河辺・押入地区	面積	84.3 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 29 年度				

目標
 地区内交通の円滑化や安全対策及び雨水排水対策による都市機能の強化

目標1： 著しい交通量の増加に対する交通の円滑化や事故防止対策、安全な歩行空間の確保を行い、誰もが安全・安心に暮らせる都市環境を整備する。
 目標2： 地区内に不足している雨水排水路を整備し、誰もが安全・安心に暮らせる都市環境を整備する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・河辺・押入地区は津山市街の東部に位置し以前から田園地帯として発展していたが、昭和49年の中国自動車道津山I.Cの開設を機に急速に市街化が進んだ地区である。
- ・交通の利便性の良さから同地区には工業施設や商業施設、医療施設等の立地が進み、平成8年の大型複合商業施設の出店を機に更なる商業施設等の集積が進み同地区への来訪者が飛躍的に増加している。
- ・さらに、平成11年には県北の医療を担っていた国立療養所津山病院から経営移譲を受けた津山中央病院が開院し、災害拠点病院あるいは第三次救急救命医療施設として広域医療の重要な役割が期待されている。
- ・今後も津山市の東の玄関口として、更なる発展が期待される地区である。

課題

- ・近年、本地区に医療施設や教育施設並びに工業・商業施設が急速に集積した結果、地区内に流入する交通量が飛躍的に増加し交通渋滞や交通事故の頻発により歩行者等が危険にさらされていることから、地区内の交通の円滑化や事故防止対策、歩行者の安全で安心な歩行空間の確保が緊急の課題となっている。
- ・また、本地区では急速に市街化が進んだことによる遊水池の減少により豪雨時には浸水被害も発生していることから、地区内の適切な雨水排水対策も緊急の課題である。
- ・そこで、本地区の交通円滑化や安全・安心な歩行空間の確保に資する道路として計画されている(都)河辺高野山西線【岡山県事業】が平成23年度から事業着手されたことに併せ、一体的に機能する広域医療施設等へのアクセス道路の整備や幅員狭小・線形不良等に起因する交通危険箇所の改善、さらには主要な歩行経路の安全確保並びに雨水排水対策を実施することで誰もが安全・安心に暮らせる都市環境の向上を図るものである。
- ・なお、広域医療施設等へのアクセス道路については、一体的に機能する(都)河辺高野山西線の供用開始予定が平成30年度であるため、本計画期間中の接続は困難な見通しであるが、接続できない間も県道上横野兼田線から広域医療施設等への歩行経路として有効に機能するため早期の整備が求められている。

将来ビジョン(中長期)

- ・平成20年3月に策定した津山市都市計画マスタープランでは、まちづくりのテーマを「歴史と文化を未来へつなぐ緑あふれる環境都”津山」とし、主要目標として①県北の中心都市にふさわしい活力ある都市、②自然と共生するまどまりある都市、③特色ある資源をまちづくりに活かした魅力的な都市、④子どもから高齢者、障害者等すべての人にやさしい都市、⑤明日を担う人材の育成 の5つを掲げている。
- ・地区別構想の津山市東部のまちづくり方針は、「土地利用の方針」として津山I.C周辺や国道53号沿線に集積している沿道型商業サービス施設や周辺の工業・業務施設を合わせた利便性の高い複合的な土地利用を図ることとしている。また、「安全・安心のまちづくりの方針」として①交通安全対策として事故多発地点や危険箇所における交差点改良や交通安全施設の設置等を関係機関との協力のもとに促進する、②県北唯一の救急救命病院であり圏域の医療拠点である津山中央病院へのアクセス道路の強化や公共交通サービスの向上を図ることとしている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		目標値	
			従前値	基準年度	目標年度	
交通事故件数	件/年	地区内市道での人身事故件数	12	平成23年度	9	平成29年度
歩行空間整備に対する満足度	%	主要な歩行経路の歩行空間整備に対する満足度	53.0	平成24年度	47.7	平成29年度
浸水対策面積	ha	地区内の内水浸水対策が必要な面積の削減	38.3	平成23年度	23.5	平成29年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【整備方針1】 著しい交通量の増加に対する交通の円滑化や事故防止対策、安全な歩行空間の確保を行い、誰もが安全・安心に暮らせる都市環境を整備する。 ・広域医療機関等へのアクセス道路を整備し、県道上横野兼田線から医療機関等への安全・安心な歩行経路並びに歩行空間を確保する。(※都市計画道路河辺高野山西線が完成した際には緊急車両等の円滑な通行や歩行者等のより安全な通行経路が一体的に確保される。) ・幅員狭小や道路線形が悪いこと等による交通危険箇所の改善。 ・交差点部の路面標示やカラー舗装による事故防止対策並びに主要な歩行経路の路側にカラー舗装を実施し歩行空間を明示する。</p>	<p>【基幹事業】 《道路》 ・市道拠点線 整備事業 ・市道T19号線、市道T32号線 整備事業 《高質空間形成施設》 ・市道T37号線外4路線 路面標示、カラー舗装など</p>
<p>【整備方針2】 地区内に不足している雨水排水対策を実施し誰もが安全・安心に暮らせる都市環境を整備する。 ・急速な開発により不足している地区内の雨水排水機能の確保。</p>	<p>【基幹事業】 《地域生活基盤施設》 ・排水ゲート(ポンプゲート) 整備事業 【提案事業】 《地域創造支援事業》 ・河辺第二雨水幹線 整備事業</p>

その他

○交付期間中の計画管理について
 交付期間中における事業実施及び調整については、岡山県並びに市内部の関係部局による横断的な組織において計画管理を行う。
 なお、事業実施状況や数値目標の達成状況については、広報誌や市のホームページ等を利用し随時市民に公表する。

○円滑な事業実施の環境
 基幹事業である市道拠点線の整備については、以前から津山中央病院や地元町内会等より早期整備に対する要望を受けており地元関係者等の事業熱度が高い。また、平成23年度から岡山県が事業着手した都市計画道路河辺高野山西線と一体的に機能する道路であるから、同時期に当該事業に着手することで円滑な事業の推進が図られる。

交付限度額算定表(その1)

河辺・押入地区(岡山県津山市)

要綱第三編イ-10-(1)に掲げる式による交付限度額(X)	383.7 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	13,478.0 百万円	X ≤ Yゆえ、本計画における交付限度額	383.7 百万円
-------------------------------	-----------	-----------------------	--------------	----------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au 337,200 m²

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)			843,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	区域の面積が10ha未満の地区		0.50
	最近の国勢調査の結果による人口集中地区内		0.45
	その他の地域	○	0.40

Ci 106,580 円/m²

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	1
公示価格の平均値(円/m ²)	74,900

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.000
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf 23,000 円/m²

控除額 3,520 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
(都)河辺高野山西線	13100	3520
合計	13100	3520

要綱第5に掲げる式による限度額算定

<社会資本整備総合交付金>

交付対象事業費	基幹事業(A)	815 百万円
	提案事業(B)	144 百万円
	合計	959 百万円

Ap 102,000 m²

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定

推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	102,000	0.12
公園	-	-
広場	-	-
緑地	-	-
公共施設合計	102,000	0.12

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1) 13,478 百万円

ΣCn 0 円

下水道

区域面積(m ²)	843,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物) 0 円

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	454,900

調整池 0 円

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川 0 円

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設 0 円

建設予定戸数(戸)	超高層		
	一般		
	合計	0	
標準整備費(円/戸)	超高層	一般	
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物 0 円

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等 0 円

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤 0 円

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等 0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2) 13,478 百万円

[1]式	$\alpha 1=4(A+B)/5=$	767
[2]式	$\alpha 2=10A/9=$	906
	交付限度額(X)	383.7 百万円

- 要綱第三編イ-10-(1) 3) 式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 要綱第三編イ-10-(1) 4) 式の適用[中活等の45%拡充]
- 要綱第三編イ-10-(1) 5) 式・6) 式の適用[リノベ事業の50%拡充]

交付限度額算定表(その2)

河辺・押入地区(岡山県津山市)

要綱第三編イ-10-(1)に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	815.250	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	383.700	① (国費)
	提案事業合計(B)	144.000	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	452.917	② (国費)
	合計(A+B)	959.250	(事業費)	上記①、②の小さい方	383.700	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.151		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	③)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		③)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	383.700	⑥ (国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)		③)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	383.700	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)	執行額を足した額	383.700	⑨ (国費)
				補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	383.700	⑩ (国費)
				補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)	
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)				
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)	⇒	適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)	4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)	

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	383.700	⑯ (国費)
--------------	---------	--------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	959.3	(事業費)	交付要綱第5に基づく交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	383.7	⑰ (国費)
			国費率	0.400	⑱ (国費率)

様式8 年次計画

(事業費:百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業	細項目									
道路	道路新築	市道拠点線	津山市	550	25	83	76	255	101	10
道路	道路改築	市道T19号線	津山市	116	10	5	1	0	26	74
道路	道路改築	市道T32号線	津山市	10	0	1	0	0	8	1
河川										
下水道										
駐車場有効利用システム										
地域生活基盤施設	(地域防災施設)	排水ゲート(ポンプゲート)	津山市	125	14	4	73	5	22	7
高質空間形成施設	(緑化施設等)	市道T37号線外4路線	津山市	14	2	2	0	0	0	10
高次都市施設										
中心拠点誘導施設										
連携生活拠点誘導施設										
生活拠点誘導施設										
高齢者交流拠点誘導施設										
既存建造物活用事業										
土地区画整理事業										
市街地再開発事業										
住宅街区整備事業										
バリアフリー環境整備促進事業										
優良建築物等整備事業										
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型									
	沿道等整備型									
	密集住宅市街地整備型									
	耐震改修促進型									
街なみ環境整備事業										
住宅地区改良事業等										
都心共同住宅供給事業										
公営住宅等整備										
都市再生住宅等整備										
防災街区整備事業										
計				815	51	95	150	260	157	102
提案事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業	細項目									
地域創造 支援事業	雨水排水路	河辺第二雨水幹線(管路)	津山市	141	11				125	5
事業活用 調査	事業効果調査分析		津山市	3						3
まちづくり活動 推進事業										
計				144	11	0	0	0	125	8
合計				959	62	95	150	260	282	110
累計進捗率 (%)					6.5%	16.4%	32.0%	59.1%	88.5%	100.0%

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 <small>注1)</small>	事業 主体	事業 手法 <small>注2)</small>	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 <small>注3)</small>	都市計画 決定 年月	備 考 <small>注4)</small>
							整備前 m	後 m							
<道路>				-											
市道拠点線	押入～押入	地	津山市	-	改築	380	0.0	11.0	2	3.0	550	H24～H29	4種3級 道路新設	-	道路改築:交通量(500～4,000台/日)
市道T19号線	河辺～河辺	地	津山市	-	改築	230	7.0～10.4	7.0～13.0	1～2	2.0	116	H24～H29	4種2級 道路拡幅	-	道路改築:交通量(4,000～10,000台/日)
市道T32号線	河辺～河辺	地	津山市	-	改築	70	4.0～4.7	5.0～6.5	1～2	-	10	H25～H29	4種4級 道路拡幅	-	道路改築:交通量(500台/日)
	～			-											
	～			-											

(参考)

<関連事業>															
(都)河辺高野山西線	河辺～押入	一	岡山県	交	改築	660	0.0	15.0～27.0	2	3.0×2	3,520	H23～H30	4種2級 街路事業(S街路)	-	道路改築:交通量(9,400台/日)

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築:交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

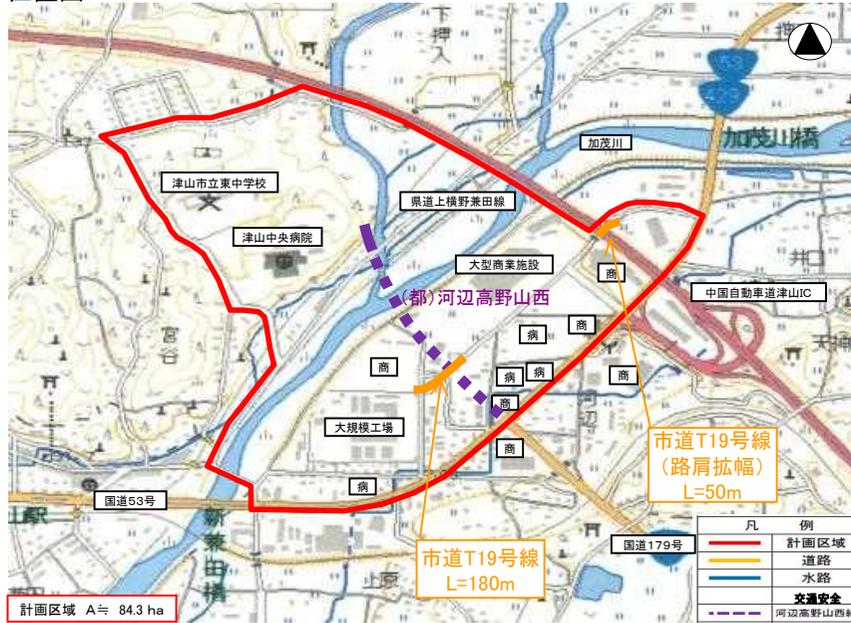
* 交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。

* 不足する場合は適宜行を追加すること

道路

○道路 市道T19号線(津山市河辺地内)

位置図



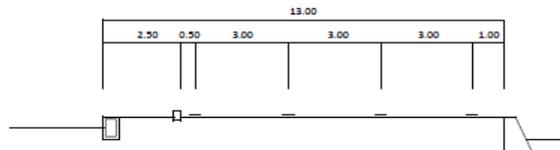
現況写真



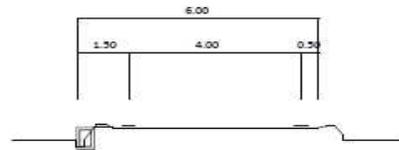
参考: 歩道整備済区間



供用後(右折レーン、歩道整備)



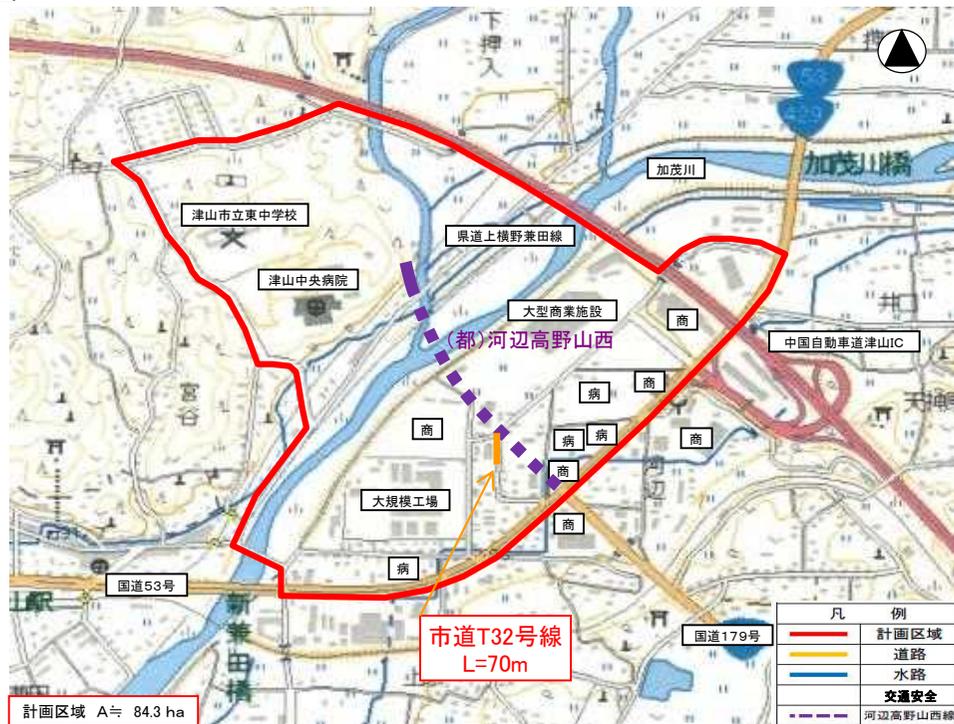
供用後(路肩拡幅)



道路

○道路 市道T32号線(津山市河辺地内)

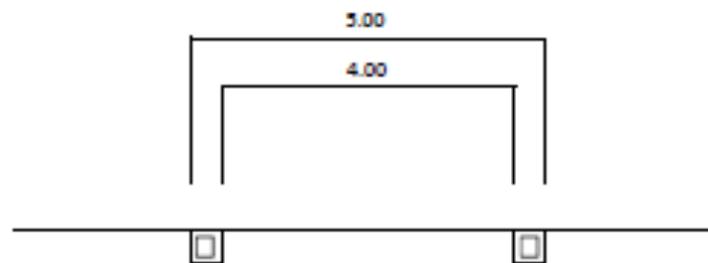
位置図



現況写真



供用後



地域生活基盤施設

単位:百万円

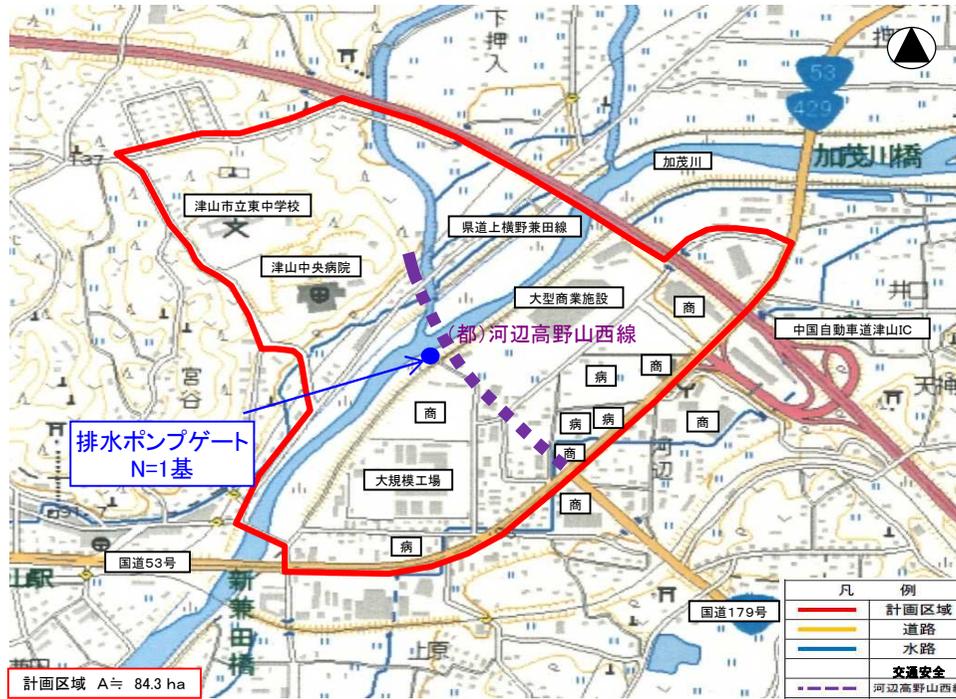
交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費 うち購入費	
緑地							—	
広場							—	
駐車場								
自転車駐車場								
荷物共同集配施設								
公開空地							—	
情報板							—	
地域防災施設	施設種別:ポンプ ゲート	津山市	電動ゲートB2000×H1610 水中ポンプ400×18.5kw 2台	125	14		111	
人工地盤							—	
合計	—	—	—	125	14		111	

- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

地域生活基盤施設

○地域防災施設 排水ポンプゲート(津山市河辺地内)

位置図



整備イメージ写真



現況排水路写真



高質空間形成施設

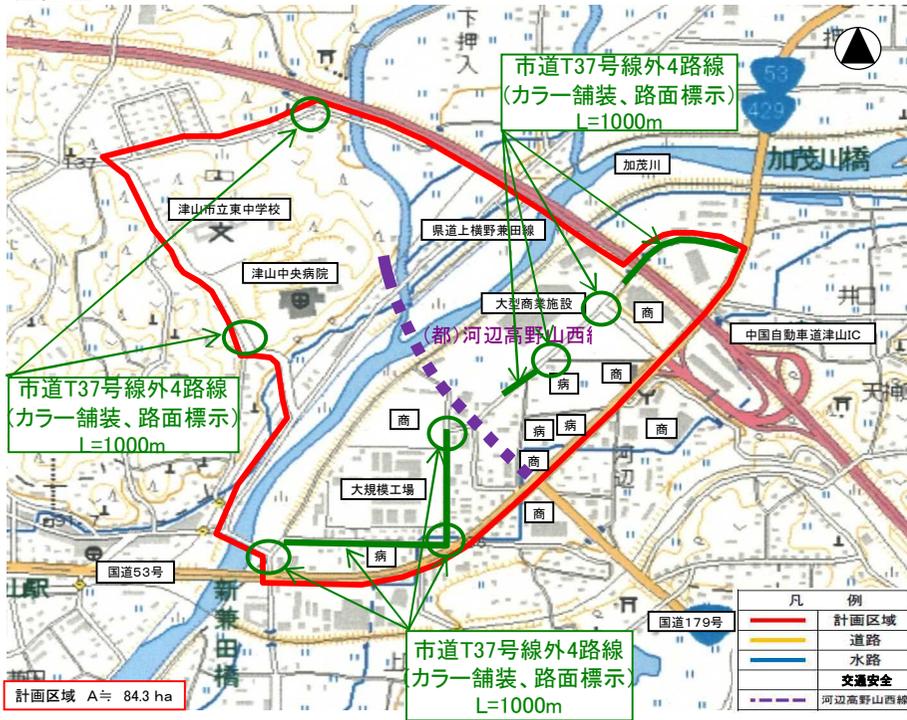
単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント等)	市道T37号線外4路線	津山市	○市道T37号線 カラー舗装等 L=360m 路面標示等 N=1交差点 ○市道T33号線 カラー舗装等 L=300m 路面標示等 N=2交差点 ○市道T19号線 カラー舗装等 L=320m 路面標示等 N=2交差点 ○市道1020号線 路面標示等 N=1交差点 ○市道Q202号線 路面標示等 N=1交差点	14			14	都市計画道路外 道路改築一部有り
電線類地下埋設施設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設						—	—	
歩行支援施設、障害者誘導施設等								
合計	—	—	—	14			14	

高質空間形成施設【カラー舗装及び路面標示】

○緑化施設等(カラー舗装、路面標示) 市道T37号線外4路線(津山市河辺、押入地内)

位置図



供用後



現況写真



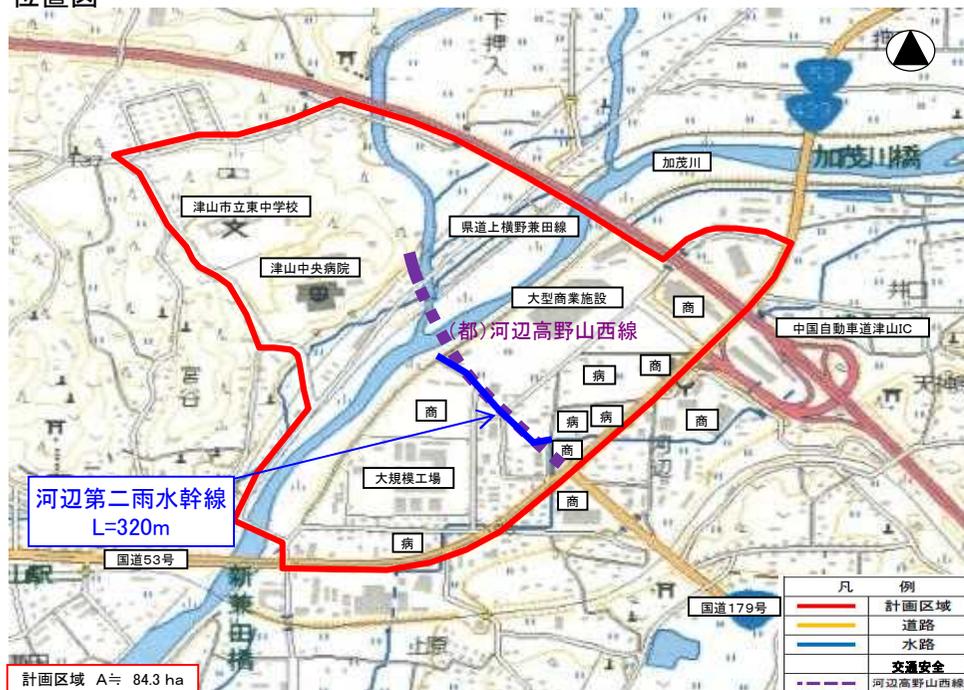
現況写真



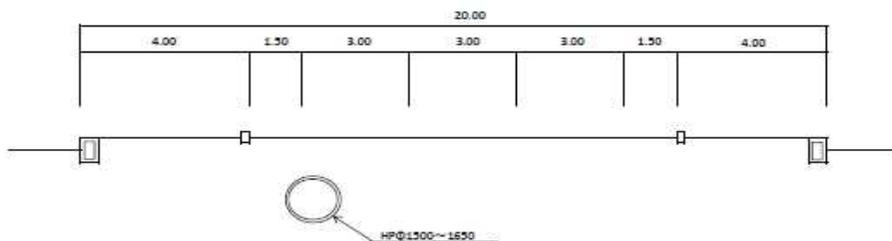
提案事業・地域創造支援事業

○雨水排水路整備 河辺第二雨水幹線(津山市河辺地内)

位置図



供用後



現況写真

